

江戸川区オリンピック・パラリンピック教育推進計画
(学校教育版)

平成 28 年 1 月
江戸川区教育委員会

はじめに

東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、本区でもカヌー（スラローム）競技が開催されることとなり、様々な期待が寄せられております。

これを受け、本区では平成28年1月に「2020年東京オリンピック・パラリンピック〔江戸川区版〕推進プログラム」を策定しました。

このプログラム策定により、開催都市の一員としての本区の方向性が示されたとともに、オリンピック・パラリンピック開催に向けた取組がいよいよ本格実施されます。

そこで、江戸川区教育委員会では、この機会を生かし、全ての学校が行政や地域と一体となって教育の新たな発展や質の向上を図り、未来ある子どもの育成に努めてもらえるように、「江戸川区オリンピック・パラリンピック教育推進計画（学校教育版）」を策定いたしました。

本計画は、各学校が取組を通じて、オリンピック・パラリンピック開催後も教育的な遺産（オリンピック・パラリンピックレガシー）を残せるように策定しました。オリンピック・パラリンピック教育推進の目標に照らし「めざす子ども像」として、

- One for all ,All for one（ボランティア精神の醸成）
- 世界はひとつ（異文化理解・共生社会の創造）
- Challenge your limits（限界への挑戦）

の3つのスローガンを掲げ、各学校が自校の実態に即して柔軟性のある取組をできるようにしたことが特徴的です。

「オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プラン」の作成にあたっては、各学校は家庭や地域、関係機関との連携を十分に図っていただき、子どもたちの心に残るオリンピックになるよう創意工夫を図っていただければ幸いです。

本区の子どもたち一人一人が、世界中の皆さんに対して、行動を起こし、社会の一員としての自覚と責任を自ら発揮して欲しいと心から願っております。

江戸川区教育委員会

目 次

1	計画策定の目的	3
2	江戸川区の方向性	3
	(1) 基本方向と取組の考え方	
	(2) 各取組の方向性	
3	オリンピック・パラリンピック教育推進の方向性	3
	(1) 基本的な考え方	
	(2) 育てたい人物像	
	(3) 目標	
	(4) めざす子ども像	
4	各学校の取組	4
5	期待される成果	5
	(1) 2020年での成果	
	(2) 2020年以降に期待されること	
6	推進体制	5
	(1) 推進体制	
	(2) 推進計画（含む各校プラン）スケジュール	

参考資料：

- ・資料1 「2020年東京オリンピック・パラリンピック[江戸川区版]推進プログラムの方向性」
- ・資料2 「江戸川区公立学校オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プラン」

1 計画策定の目的

この教育推進計画は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、それぞれの学校が一体となって教育の新たな発展や質の向上を図るための取組の方向性や考え方を示すものである。

2 江戸川区全体の方向性

(1) 基本方向と取組の考え方

わがまち江戸川区に誇りを、訪れる人々が憧れるまちを！

2020年、世界最大のスポーツと平和の祭典、「オリンピック・パラリンピック競技大会」が東京で開催され、本区はカヌー（スラローム）競技の会場となります。開催都市の一員である私たちは、スポーツを通じた心身の向上や世界平和の実現という「オリンピック精神」に基づく取組み、まちなみの整備、青少年の育成を進め、全ての区民が本区ならではの「おもてなしの心」で迎えられるよう気運を高めていきます。

(2) 各取組の方向性

①スポーツ

世代を問わずスポーツに親しみ、健康的に暮らすことのできる江戸川区の実現

②教育

子どもたちが外国語や外国文化に親しむなど、国際感覚豊かな人材育成の推進

③文化・国際交流・おもてなし

国内外の来訪者をもてなす“心”の醸成や、魅力ある地域資源の発掘・発信

④安全・安心

防犯・防災対策の推進について、地域住民と共に取り組むまちの実現

⑤まちづくり

バリアフリーや環境負荷の低減を含め、誰もが住みやすく訪れやすいまちの実現

※資料1 「大会成功に向けた5つの柱」参照

3 オリンピック・パラリンピック教育推進の方向性

(1) 基本的な考え方

IOC提唱のオリンピック教育や本区全体のオリンピック・パラリンピックの方向性はもちろんのこと、本区の教育目標を鑑み、以下の「育てたい人物像」や「目標」を掲げ、オリンピック・パラリンピック教育の推進を図ります。

(2) 育てたい人物像

①高い道徳性をもち、自らを律し、個性や創造力豊かに自己を高め、地域社会に貢献することができる人

②広い視野と考え方をもち、異文化理解や多様性の尊重ができ、他者と協働して、平和な社会の発展に寄与できる人

③心身共に健康で、自らの夢をもち、試練を乗り越え、創造力をもって、その夢に向かって邁進することができる人

(3) 目標

- ①自律と社会参加のできる子の育成
- ②異文化理解を深め、共生社会の実現に寄与できる子の育成
- ③健康で、将来の夢をもち、夢に邁進できる子の育成

(4) めざす子ども像

①One for all ,All for one (ボランティア精神の醸成)

- ・自ら考え、行動し、自律した考えをもつことのできる子
- ・先人の培ってきた、江戸川区のボランティア精神を誇りに思い、自ら率先してボランティア活動を継承できる子

②世界はひとつ (異文化理解・共生社会の創造)

- ・ふるさと江戸川や国を愛するとともに、他者と協働して、平和な世界の発展に寄与できる子
- ・共生地域の実現をめざし、障害があるないに関わらず、全ての人々が自己実現を目指すことができる社会の実現を考えられる子

③Challenge your limits (限界への挑戦)

- ・生涯を通して、健康的な生活を送ろうと考えられる子
- ・自らの夢や高い理想をもち、その実現に向けて、不断の努力を行える子

4 各学校の取組

オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プランを作成し、各校の実態に合った着実な取組を行っていきます。

※資料2「江戸川区公立学校オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プラン」参照

- 例 学習読本を活用したオリンピック・パラリンピック教育
各種スポーツ体験
学校ごとの出場国応援運動
障害者スポーツの体験

5 期待される成果

(1) 2020年での成果

- ①オリンピック・パラリンピック教育の歴史や意義を学び、スポーツに対する関心が高まっている
- ②日常的にスポーツに親しむ習慣が身に付いている

- ③異文化への理解が深まり、国際感覚が身に付いている
 - ④障害者スポーツの体験等を通じ、誰もが障害について正しく理解し、共に助け合う大切さを学んでいる
- (2) 2020年以降に期待されること
- ①2020年東京大会を通じ、オリンピック精神に掲げられた“友情・連帯・フェアプレーの精神・相互理解”が浸透している
 - ②基礎体力が向上し、心身ともに健康な子どもに育っている
 - ③2020年東京大会などでのボランティア経験や外国人との交流を通して、国際感覚豊かな子どもに育っている
 - ④“心のバリアフリー”が浸透し、思いやりの輪が広がっている

6 推進体制

(1) 推進体制

区推進本部に設置された「スポーツ」「**教育**」「文化・国際交流・おもてなし」「安全・安心」「まちづくり」部会での検討事項を盛り込んだ区全体の推進計画を受けて、教育部会における推進計画を各部会や外部機関との連携を図りながら実行する。

(2) 推進計画（含む各校プラン）スケジュール

教育推進計画策定のスケジュールは、概ね以下の通り

平成27年6月 庁内意見募集

8月 2020年東京オリンピック・パラリンピック[江戸川区版]推進プログラムの方向性公表及び区民アイデア募集

11月 江戸川区オリンピック・パラリンピック教育推進計画案公表

平成28年4月 江戸川区立学校オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プラン公表 ※各校にてホームページにアップ

4月 全校にてオリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プランの実施

平成28年4月以降

各校において、調整し随時改訂

2020年東京オリンピック・パラリンピック[江戸川区版]推進プログラムの方向性


大会成功に向けた5つの柱

<p>I スポーツ</p> <p>世代を問わずスポーツに親しみ、健康的に暮らすことのできる江戸川区の実現</p>	<p>II 教育</p> <p>子どもたちが外国語や外国文化に親しむなど、国際感覚豊かな人材育成の推進</p>	<p>III 文化・国際交流・おもてなし</p> <p>国内外の来訪者をもてなす“心”の醸成や、魅力ある地域資源の発掘・発信</p>	<p>IV 安全・安心</p> <p>防犯・防災対策の推進について、地域住民と共に取り組むまちの実現</p>	<p>V まちづくり</p> <p>バリアフリーや環境負荷の低減を含め、誰もが住みやすく訪れやすいまちの実現</p>
---	--	---	---	---

I スポーツ

2020年における本区の姿

- 豊かな自然や充実した施設環境をもとに、誰もがスポーツに親しんでいる
- スポーツ施設のバリアフリー化が進み、広く障害者スポーツが行われている
- 大会開催やアスリートへの応援を通じて、熱気と興奮が包まれる
- 親水河川の拠点整備が進み、カヌーをはじめとする水上スポーツが盛んになる



2020年以降の本区の姿

- 多様なスポーツに親しむことにより、誰もが健康で充実した生活を営んでいる
- 障害者スポーツを通じた交流が行われ、障害者への理解もより深まっている
- 大会での世界レベルのパフォーマンスをきっかけに、スポーツへの参加やレベル向上への意欲が高まり、トップアスリートが多数輩出される
- カヌー競技のメッカとして国際大会等が開催され、国内外からトップレベルの選手が集うまちとして栄える。また、競技場を活用した選手の育成も進み、世界で活躍する選手が育っていく

取り組み例

トップアスリートによるスポーツ教室／パラリンピック競技種目のPR・体験／スポーツ施設のバリアフリー化及び機能充実／「江戸川区スポーツ夢基金」によるトップアスリートへの支援／水上スポーツ拠点（新左近川親水公園）の整備／カヌー体験教室／広報媒体を活用したカヌー競技の紹介／江戸川区カヌー協会の設立／公園への健康器具の設置 など

II 教育

2020年における本区の姿

- オリンピック・パラリンピック教育を通して、その歴史や意義を学び、スポーツに対する関心が高まっている
- 外国文化への理解が深まり、国際感覚が身に付いている
- 水と緑豊かな環境創造の歴史や、自然との再立を回ったカヌー競技場整備の経緯を学び、自然環境を尊重意識が浸透している
- 障害者スポーツの体験等を通じ、誰もが障害について正しく理解し、共に助け合う大切さを学んでいる



2020年以降の本区の姿

- 大会で味わった感動をきっかけに、多くの子どもたちが世界への夢を抱き、自身の可能性にチャレンジしていく。また、世界レベルのパフォーマンスに影響を受け、自らもトップアスリートを目指す子どもが増えている
- 大会などでのボランティア経験や外国人との交流を通して、世界へ羽ばたく国際感覚豊かな人材が育っていく
- 自然環境や地域を愛する心が、次代の子どもたちに受け継がれている
- “心のバリアフリー”が浸透し、思いやりの輪が広がっている

取り組み例

オリンピック・パラリンピック教育／障害者スポーツ体験／オリンピック・パラリンピックの特徴を取り入れた運動会（学校・幼稚園・保育園等）／一校一応援運動／オリンピック・パラリンピック応援給食（学校・幼稚園・保育園等）／外国人講師との英会話学習（学校・幼稚園・保育園等）／「青少年の翼事業」OBを中心としたボランティア活動の展開／自然体験や自然観察会 など

III 文化・国際交流・おもてなし

2020年における本区の姿

- 江戸川区の文化・産業の魅力が国内外に発信され、体験事業も広く行われている
- 国内外の大勢の来訪者が、快適に滞在を楽しめる環境となっている
- 多方面にわたってボランティアが育ち、江戸川区民ならではの「おもてなし」の気持をもっと広く活動している



2020年以降の本区の姿

- 江戸川区の魅力が広く知れ渡ることで、リピーターだけでなく新たに訪れる方も増え、更に賑わいのあるまちとなっている
- 地域交流や国際交流が盛んに行われ、新たな文化創造の息吹がもたらされる
- 2020年東京大会などでのボランティア経験を活かし、様々な分野での実践が見られるようになる



取り組み例

ボランティア育成講座（語学・福祉・ガイド等）／商店を対象とした外国人おもてなし研修／オリンピック・パラリンピック特設サイトの開設／伝統芸能や日本文化体験機会の創出／区特産物（金魚・小松菜・伝統芸等）に関する体験企画／外国人に向けた区産品の販売促進／多言語に対応した情報誌の作成やアプリの開発／外国人の“食”への対応（宗教別対応、多言語メニュー）／出場の料理を味わうイベントの開催／銭湯のPR（スタンラリー、銭湯アプリの開発） など

IV 安全・安心

2020年における本区の姿

- 地域ぐるみの防犯活動が活発に行われ、防犯意識が高まっている
- 来訪者を含めた防災行動の支援体制が整う
- 飲食店や宿泊施設における衛生管理の徹底に加え、国外からの来訪者に対する診療環境も整い、安心して滞在できるまちになっている



2020年以降の本区の姿

- 体感治安が向上し、犯罪のない安全で安心なまちとなっている
- 災害に対する意識や知識が向上し、いざという時に適切かつ迅速な行動がとれるようになっている
- 安心かつ快適に滞在できるまちとして認知されることによって、飲食店や宿泊施設の利用が進み、まちが更に活性化していく



取り組み例

防犯パトロール／避難誘導案内サイン看板の設置／多言語に対応した災害時行動パンフレットの作成／競技会場周辺にある防災行政無線の高性能化／競技会場周辺における区民参加型防災訓練の実施／医療機関及び薬局・薬店を掲載した多言語マップの作成／外国人診療への対応／飲食店や宿泊施設への衛生監視指導／輸入感染症発生時における対応体制の構築 など

V まちづくり

2020年における本区の姿

- バリアフリー化が進み、移動に支障のないまちになっている
- 自転車走行環境が整備され、自転車の利用人口が増加している
- ごみのポイ捨てや違反広告物のない、清潔な環境が保たれている
- 生物多様性を育む自然活動が広がっている
- 「もったいない運動」が区民に根付き、水素など最先端エネルギーの活用に向けた取り組みが進められている



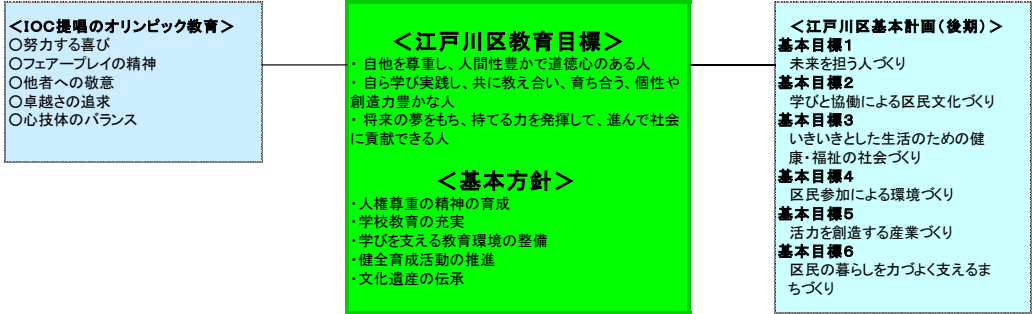
2020年以降の本区の姿

- 誰もが安心して快適に移動できる、グレードの高いまちとなっている
- 安全・快適な自転車走行空間が確保され、来訪者を含めコミュニティサイクルの利用が進んでいる
- まちの美観が保たれ、良好な都市景観が創出されている
- 海、干潟、河川、親水公園など、自然環境豊かな水辺が守り育てられている
- 一人ひとりが環境に配慮する「日本一のエコタウン」が実現されている

取り組み例

まちのバリアフリー化／案内表示・道路標識の多言語化やピクトグラム表示の導入／外国人の利用も見据えた公衆トイレの整備／自転車走行ルートの整備／歩行者や自転車利用者へのマナー向上と安全教育の実施／広域利用を見据えたシェアサイクルの導入検討（隣接区市との連携）／燃料電池バスの導入／新エネルギーの活用促進／美化運動キャンペーン／水辺での清掃活動 など

江戸川区公立学校オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プラン(例示)



<江戸川区の2020年、大会成功に向けた5つの柱>

- スポーツ…世代を問わずスポーツに親しみ、健康的に暮らすことのできる江戸川区の実現
- 教育…子どもたちが外国語や外国文化に親しむなど、国際感覚豊かな人材育成の推進
- 文化・国際交流…おもてなし…国内外の来訪者をもてなす“心”の醸成や、魅力ある地域資源の発掘・発信
- 安全・安心…防犯・防災対策の推進について、地域住民と共に取り組むまちの実現
- まちづくり…バリアフリーや環境負荷の低減を含め、誰もが住みやすく訪れやすいまちの実現

<育てたい人物像>

- ・ 高い道徳性をもち、自らを律し、個性や創造力豊かに自己を高め、地域社会に役立つことができる人
- ・ 広い視野と考え方をもち、異文化理解や多様性の尊重ができ、他者と協働して、平和な社会の発展に寄与できる人
- ・ 心身共に健康で、自らの夢をもち、試練を乗り越え、創造力をもって、その夢に向かって邁進することができる人

<オリンピック・パラリンピック教育レガシー創造プランの目標>

- 自律と社会参加のできる子の育成
- 異文化理解を深め、共生社会の実現に寄与できる子の育成
- 健康で、将来の夢をもち、夢に邁進できる子の育成

めざす子ども像		
One for all ,All for one (ボランティア精神の醸成)	世界はひとつ (異文化理解・共生社会の創造)	Challenge your limits (限界への挑戦)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自ら考え、行動し、自律した考えをもつことのできる子 ・ 先人の培ってきた、江戸川区のボランティア精神を誇りに思い、自ら率先してボランティア活動を継承できる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふるさと江戸川や国を愛するとともに、他者と協働して、平和な世界の発展に寄与できる子 ・ 共生地域の実現をめざし、障害があるないに関わらず、全ての人々が自己実現を目指すことのできる社会の実現を考えられる子 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯を通して、健康的な生活を送ろうと考えられる子 ・ 自らの夢や高い理想をもち、その実現に向けて、不断の努力を行える子
<p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> ● あいさつ運動 ● 片付けや当番活動 ○ 動物や植物のお世話 ○ 花植えボランティア 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域施設の活用 ○ 遠足 ○ 祖父母参観 ○ 手話体験 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一園一取組運動 ○ 小学生授業体験・給食体験 ○ 動物ふれあい体験 ○ 足育・心育・遊育 ○ スケート・プール体験
<p>小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道徳地区公開講座 ● お手伝い学習 ○ マナー教室 ○ ノーゲームデー ○ お年玉募金 ○ 金管バンド ○ 連合音楽会 ○ 地域清掃 	<ul style="list-style-type: none"> ● 世界の国々調べ ● エンカレッジルームを活用した特別支援教育 ○ 区内めぐり ○ 郷土資料室活用 ○ 江戸川伝統文化交流 ○ ユニバーサルデザインの学校づくり ○ 副籍制度を活用した交流及び共同学習 ○ 特別支援担当教諭による理解教育 ○ 高齢者施設での交流 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一校一取組運動 ● 早寝・早起き・朝ごはん ● 職業調べ ○ トップアスリートとの交流 ○ 区陸上大会、水泳大会 ○ 1/2成人式 ○ 夢に向かって ○ 中学生体験
<p>中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 道徳地区公開講座 ● 1人1ボランティア運動 ○ 地域活動への参加 ○ 自転車盗0作戦 ○ お背中流し隊 ○ 肩こりほぐし隊 ○ ジュニア訪問員 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一校一取組運動 ● 副籍制度を活用した交流及び共同学習 ○ 特別支援担当教諭による理解教育 ○ 都内めぐり ○ 地域の方々との面談週間 ○ ユニバーサルデザインの学校づくり ○ 校内環境教育 	<ul style="list-style-type: none"> ● 一校一取組運動 ● 生活リズム向上公開講座 ● チャレンジ・ザ・ドリーム ○ トップアスリートとの交流 ○ 部活動 ○ 中学生の東京駅伝 ○ 区陸上大会

オリンピック・パラリンピック教育推進計画

平成 28 年 1 月

江戸川区教育委員会事務局指導室

電 話 5 6 6 2 - 1 6 3 4

ファクシ 3 6 7 4 - 5 8 7 4